

大津市の中学生のみなさんに

平成 27 年 6 月
大津市教育委員会

入学、進級し、緊張感に包まれていた学校生活も気がつけば、もうすぐ1学期が終わろうとしています。クラスにも慣れ、充実した日々を過ごせていますか。みなさんがそれぞれの場所で、学習や部活動などに一杯頑張り、友達だけでなく、クラスの仲間、そして先生も含め、充実した楽しい日々を過ごせていたらうれしいです。

さて、今回みなさんには考えてほしいことがあります。それは「いじめ」のことです。みなさんも知っている通り、いじめは、悪口やからかい、仲間はずれ、陰口はもちろん、暴力や物隠し、落書き、ネット（メールやLINE等）を利用した書き込みなど様々です。あなたが、軽い気持ちであっても、「いじり」や「ノリ」と思っている時、たとえ相手が笑っていたとしても、相手は深く傷ついているかもしれません。

そして、何よりわかっているほしいことは、かけがえのない命を失うこともあるということです。「いじめ」は、相手を深く傷つけ、命までも奪ってしまう行為なのです。

みなさんの学校生活はどうか。

今、自分が何気なく友達に話している言葉や態度で嫌な思いをしている人はいないでしょうか。まず、自分が、いじめの加害者になっていないか見つめなおしてほしいと思います。

反対に、いじめを受けてつらい思いをして一人で悩んでいませんか。最初の一步に勇気が必要かもしれませんが、ぜひ、友だちや先生などに相談してください。先生たちは、そんなあなたの気持ちに寄り添いたいと思っています。

また、自分のまわりにはいじめを受け、困っている人はいませんか。たった一声のあたたかい言葉でその仲間は救われるかもしれません。気付けた自分の優しさを、声かけや周囲に知らせる勇気に変えましょう。みなさん一人ひとりの「いじめをなくしたい」という思いがなければ、いじめはなくなりません。先生とみなさんがタッグを組んで、いじめのない、互いを尊敬できる関係、みんなが安心して過ごせる学校をつくっていきましょう。

いじめにつながるこんな振る舞い

- ① **「友達だから、これぐらい大丈夫」という自分勝手な気持ちからくる言動**
⇒ 友達でも嫌なことは嫌。いつも相手を思いやる気持ちを大切にしよう
- ② **「あの子は、〇〇だから」という決めつけ**
⇒ 誰にでも得意、不得意はあるもの。良いところを見つけ合おう
- ③ **「いじっているだけ……」「ノリで……」と軽い気持ちからくる言動**
⇒ 友達との付き合い方を再度考えよう。仲間の思いを考えない「楽しさ」は、本当の「楽しさ」でしょうか。
- ④ **メールやLINE等のSNSを利用したコミュニケーションの取り方**
⇒ 便利なものでも使い方を間違えば、いじめにつながる。
読む側の気持ちを考えた使い方を心がけよう。言葉を大切にしよう。



先生やおうちの方に相談しにくい時は、電話で相談できます

相談先	電話番号	受付時間
おおつっこ ほっとダイヤル	0120-025-528	月～金（火曜日以外） * 火曜 午前9時～午後5時 午前9時～午後8時
子どもナイトダイヤル	077-523-1501	毎日（夜間） 午後5時～午前9時
大津市教育相談センター	077-525-7912	月～土 午前9時～午後5時
大津少年センター	077-522-3721	火～日 午前9時～午後5時
堅田少年センター	077-573-9000	火～土 午前9時～午後5時



みんなのいじめ防止行動宣言

～いじめゼロへの小さな勇気～

いじめたり、いじめられたり、それを見ているだけだったり、そんなことが起きないような、楽しい学校生活を過ごしたい・・・これは、学校に通う私たちの共通の願いです。

いじめをなくすには、どうしたらいいのでしょうか。私たちはこれまで、学校での様々な取り組みのなかで、考え、話し合ってきました。

いじめをなくすための明確な「答え」はないかもしれませんが、少しでもその「答え」に近づけるよう、日頃から私たち一人ひとりが意識を持ち続け、普段の行動で示すことが必要だと思えます。

私たちは、各学校でそれぞれ取り組んだ「思い」や「ことば」を持ち寄り、人が、いじめたり、いじめられたり、それを見る立場になったとき、それぞれの視点から、行動するべき内容を宣言文として定めることにしました。

宣言文は、「い・じ・め・な・し」の5文字から始まる文章とし、私たち中学生だけでなく、大津市民みんなにとっての宣言とするため、小学生でも理解し、行動に移せるものとなりました。



いやなことがあったら、どんな小さなことでも誰かに話してみよう。

たとえ小さなことでも、自分が「いや」と思えば、それは、いじめかもしれません。もしかしたら、いじめに発展してしまうかもしれません。そんなことにならないように、勇気を出して誰かに話し、少しでも楽になってほしい、そしていじめをなくしていきたい、という思いを宣言にしました。



自分から相手の気持ちを考え、思いやる心を持とう。

いじめは、誰かが「いじめ」という行動を起こさなければ始まりません。もし「いじめ」をしようとしたとき、相手の気持ちを考え、思いやる心を持つことで、それが「いじめ」であることに気づき、行動を起こす前にやめてほしい、という思いを宣言にしました。



目の前のつらそうな人を見逃さず、自分のできることで友だちを守ろう。

いじている人、いじめられている人だけではなく、周りで見ている人も、いじめに関わっています。見て見ぬふりをするのではなく、目の前で助けを求めている人に対し、小さなことでもいいから、自分のできることをすることで友だちを守ってほしい、という思いを宣言にしました。



なにげない素敵な行動で仲間の笑顔を広げていこう。

いじめを起こさないためには、周りの雰囲気づくりも大切です。大津の子どもは、みんなが仲間であり、そのなにげない素敵な行動が、仲間の笑顔を広げることにつながります。そうして、いじめを起こさない雰囲気をつくっていききたい、という思いを宣言にしました。



信じあう気持ちと小さな勇気を支えにして、私たちの手でいじめのない大津にしよう。

将来を担う私たち自身が、互いに信じあい、たとえ小さくても勇気を持って、これらの宣言を普段から意識して行動に移していくことで、いじめのないまち、大津をつくっていききたい、という思いを宣言にしました。

この宣言文は、市民一人ひとりが普段から意識してこそ、行動につながり、いじめの防止につながります。

この大津で、いじめに悩む子どもたちがいなくなるよう、この宣言文に記した「ことば」を心におき、しっかり行動に移していきましょう。

平成26年10月

<平成26年度いじめ防止啓発月間(10月)子どもフォーラム開催に向けての子ども検討会議参加中学生一同>